

取扱説明書

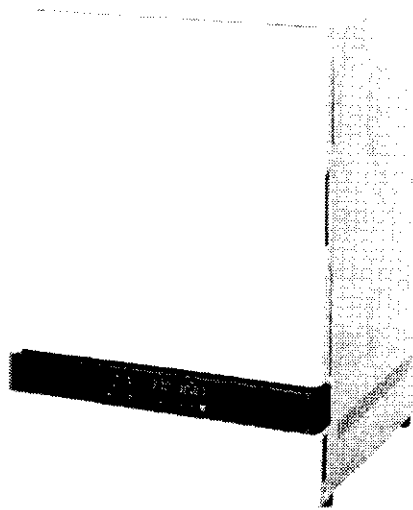
SANYO

ヒータ式インキュベータ

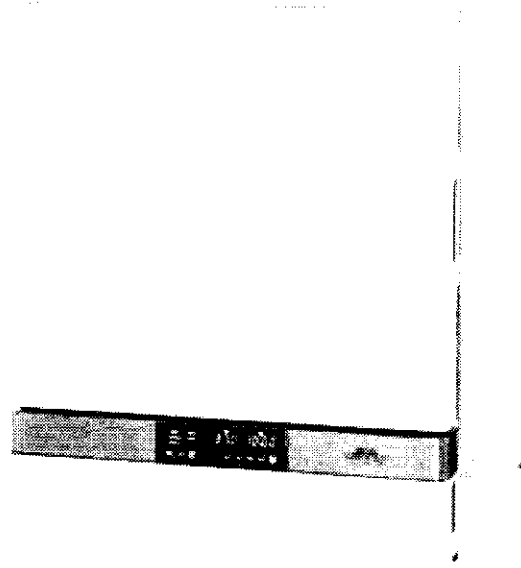
品番 MIR-162/MIR-262

このたびは、ヒータ式インキュベータをお買上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をお読みの上、安全に正しく使用してください。また、ご使用される方が、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MIR-162



MIR-262

この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

目次

はじめに	2 ページ
安全上必ずお守りください	3 ページ
各部の名称とそのはたらき	6 ページ
コントロールパネル	7 ページ
据付場所の選びかた	8 ページ
据付けのしかた	9 ページ
試運転のしかた	10 ページ
コントロールパネルの基本操作の流れ	11 ページ
タイマ機能について	11 ページ
コントロールパネルの基本操作方法	12 ページ
コントロールパネルの応用操作方法	13 ページ
コントロールパネル操作時の注意事項	14 ページ
警報・保安機能および自己診断機能	15 ページ
停電復帰後の動作	15 ページ
お手入れのしかた	
清掃のしかた	16 ページ
故障かな？と思ったら	17 ページ
アフターサービスと保証(無料修理について)	18 ページ
保証書請求券についてのお願い	18 ページ
安全確認書発行のお願い	18 ページ
安全確認書	19 ページ
インキュベータを廃棄するときは	20 ページ
仕様	21 ページ
性能仕様	21 ページ

はじめに

<取扱説明書について>

- ご使用前に取扱説明書をよく読み、安全に関する指示事項には必ずしたがってください。
- 製品本来の使用方法および取扱説明書に規定した方法以外での使い方に関しましては、当社は安全性を保証できませんので、注意してください。
- 取扱説明書は適切な場所に保存し、必要な時にいつでも参照できるようにしておいてください。
- 取扱説明書の内容は、製品の性能・機能の向上などによって将来予告なしに変更することがあります。
- 取扱説明書に乱丁・落丁などの不備がありましたら、営業所または販売店へ連絡してください。
- 取扱説明書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一不備な点や誤り、記載もれなどにお気づきの場合には、営業所または販売店へ連絡してください。
- 取扱説明書の全部または一部を無断で転載、複製することはお断りします。

<保証書、保証書請求券について>

- 本製品には、保証書請求券が同梱されております。設置が完了次第、保証書請求券を2週間以内に返送してください。折返し保証書をお送りいたします。
- 保証書は内容をよく読んでください。なお、保証書は再発行はしませんので、大切に保管してください。
- 保証書がない場合、無料修理期間中(購入後1年以内)でも、修理料金をいただくことになります。

<お客さまの個人情報のお取り扱いについて>

- 保証期間内の無料修理あるいはサービスの際にお受けしたお客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。
- 製品の設置後に返送していただきます保証書請求券上のお客さまの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

安全上必ずお守りください

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」と「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

危害・損害の程度とその表示



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

<製品に表示されているラベルについて>





このマークは、内部に高電圧の電気部品があり、感電の危険性があることを示しています。


このマークが付いたカバーは、サービスマン以外は絶対に開けないでください。


安全上必ずお守りください


警告


 屋外で使用しないでください。雨水のかかる場所で使用すると漏電・感電の原因になります。


 据付けは、営業所または販売店に依頼してください。ユーザによる据付け工事は、水漏れや感電、火災の原因になります。


 製品は、重量に十分耐える所に水平になるように据付け、転倒防止の処置をしてください。強度不足や据付けが不完全な場合は、製品の転倒によりケガの原因になります。


 湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に据付けしないでください。絶縁低下から漏電・感電の原因になります。やむなく湿気のある場所に据付ける場合には、漏電遮断器(当社指定部品)の取付けが必要です。営業所または販売店に相談してください。


 引火性・揮発性の物質がある場所には据付けしないでください。爆発・火災の原因になります。また、酸などの腐蝕性ガスのある場所には据付けしないでください。電装品の腐蝕により絶縁が低下して漏電や感電の原因になります。


 感電を防止するためにアース(接地)接続をおこなってください。アース接続ができない場合は、営業所または販売店にアース工事を依頼してください。アース接続をしないと感電の原因になります。


 アース工事のアース線はガス管、水道管、避雷針や電話のアース線に接続しないでください。感電の原因になります。


 本製品の定格ラベルに示されている定格周波数、電圧以外では使用しないでください。火災、感電の原因になることがあります。


 揮発性・引火性のあるもので、容器密封ができないものは、器内に入れてください。爆発・火災の原因になります。


 通気孔や隙間にピンや針金などの金属、異物などを入れないでください。感電の原因になったり、駆動部が動作してケガの原因になったりします。


 毒性、病原性、または放射性物質等、有害な試料を扱う場合は、定められた隔離施設内で使用してください。誤った使用により、人体や自然環境に有害な影響をおよぼす原因になります。


 お手入れや整備・点検のときは、電源スイッチがある場合には電源スイッチを停止にして、電源プラグを抜いてください。感電やケガの原因になります。


 濡れた手で電気部品(電源プラグ等)に触れたり、スイッチ操作をしたりしないでください。感電の原因になることがあります。

 製品のお手入れの際、周囲についた薬品、蒸気や粉塵を吸込まないでください。健康を害する原因になります。

 製品に直接水をかけたりしないでください。また、製品の上には液体を入れた容器を置かないでください。こぼれた液体でショート・感電の原因になります。

 電源コードを束ねたり、加工したり、踏みつけたり、電源プラグを傷つけたり、破損しないでください。また、電源プラグの差込みがゆるい時は電源コードを使用しないでください。火災、感電の原因になります。

 メンテナンス技術員以外の方は、絶対に分解したり修理・改造したりしないでください。発火したり、異常動作等により、感電やケガの原因になります。

 異常時は運転を停止して、電源プラグを抜いてください。異常のまま運転を続けると感電、火災等の原因になります。

安全上必ずお守りください

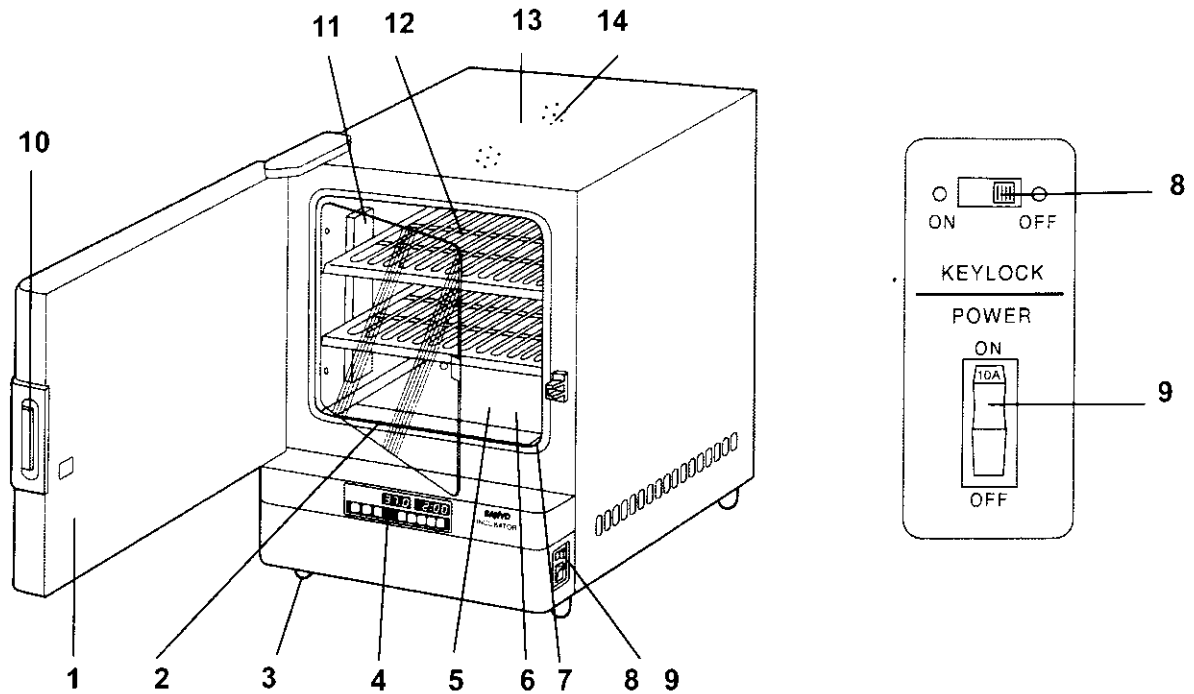
⚠ 警告

- ❗ 電源コードを抜く時は、必ず先端の電源プラグを持って引抜いてください。コードを引っ張ると感電やショートの原因になります。
- ❗ 製品を移動する時は、電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードを傷つけないように移動してください。感電、火災の原因になることがあります。
- ❗ 製品を長期間使用しない時は、電源コードを電源供給元から外してください。絶縁劣化により感電や漏電、火災の原因になることがあります。
- ❗ 製品を一時的に使用を中止して保管する場合は、幼児が遊ぶ場所をさけ、扉を密閉できないようにしてください。幼児が閉じ込められる原因になります。
- ❗ 解体・廃棄は専門業者に依頼してください。放置すると幼児が閉じ込められる原因になります。
- 🚫 梱包ポリ袋は幼児の手に届くところに置かないでください。頭からかぶるなどをしたときに口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本製品の定格ラベルに合った専用電源(専用ブレーカを備えた専用回路)を単独で使用してください。他の器具と併用すると分岐コンセント部等が異常発熱し、発火の原因になります。
- 🚫 電源プラグはほこりを取り、電源供給元に確実に接続してください。ほこりが付着したプラグや不十分な差込みは、発熱し発火の原因になります。
- ❗ 酸、アルカリ等の腐蝕性のあるもので、容器密封ができないものは、器内に入れないでください。内装部品や電装品の腐蝕の原因になります。
- ❗ 停電後に運転を再開する場合は、設定値の確認をおこなってください。設定値が変化して、内容物に障害を与える原因になることがあります。
- ❗ 製品を移動するときは、転倒に十分気を付けてください。転倒によるケガの原因になることがあります。
- ❗ メンテナンスや修理を依頼する際には、メンテナンス技術員の安全を守るために、安全確認書の発行が必要です。

各部の名称とそのはたらき



1. 扉

2. 内扉

強化ガラス製です。無理な力がかからないよう注意してください。

3. 調節台

ゴム足になっております。ねじ込み式で高さを調節できます。

4. コントロールパネル

詳細は P.7 を参照してください。

5. 底版

直接、物をのせないでください。

6. ヒータボックス(内部)

底板の下にヒータが取付けられています。

7. パッキング

傷つけないよう注意してください。

8. キーロックスイッチ(KEY LOCK)

コントロールパネルに設定値を入力する際には、まずこのキーロックスイッチを OFF にしてください。設定値を入力後再びキーロックスイッチを ON にすると、コントロールパネル上で偶然的な接触などによって設定値が変わることを防止します。

9. 主電源スイッチ

すべての電源の ON-OFF スイッチです。

10. 扉開閉ノブ

扉を開く際は、ノブ内側のレバーを握ってください。

11. 棚支柱

多段調節が可能です。

12. 棚

手前に引出すことができます。

13. 温度センサ(器内上部)

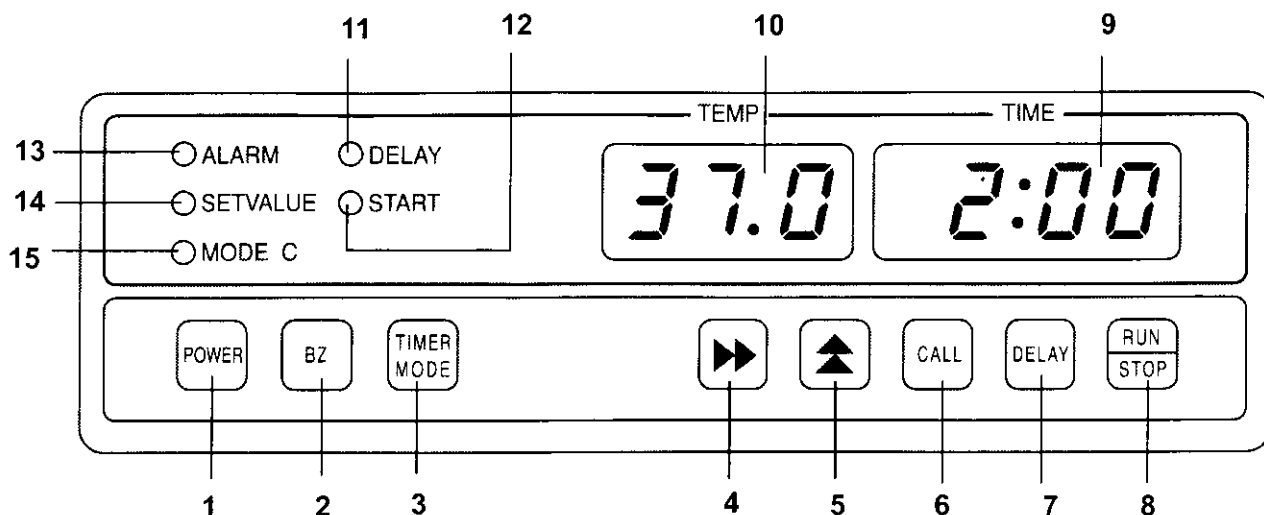
収納物をセンサに接触させたり、傷つけたりすることのないよう注意してください。直下に内容物を置かないでください。器内温度のコントロールができなくなります。

14. 排気孔

この上に物を置かないでください。高温になるだけでなく、温度制御できなくなります。

各部の名称とそのはたらき

コントロールパネル



1. 電源スイッチ(POWER)

コントロールパネルの ON-OFF スイッチです。

2. 警報ブザー音停止キー(BZ)

警報が作動し、ブザーが鳴っているとき、このキーを押すと音が止まります。(外部過昇防止機能は除く)

3. タイマモード切換えキー(TIMER MODE)

このキーにより通常モードとタイマモード C を選択できます。詳細については、P.11 の「タイマ機能について」を参照してください。

4. 桁シフトキー(▶▶)

設定モードのとき、このキーを押すと変更できる桁が移動します。また、温度表示部から、時間表示部への移動も行います。

5. 数値シフトキー(▲)

設定モードのとき、このキーを押すと数値を変更できます。

6. コールキー(CALL)

このキーを押すと、設定モードに入り、設定可能な桁が点滅します。ただし、温度制御運転中は設定値表示モードになり、設定値は変更できません。

7. 遅延タイマキー(DELAY)

温度制御運転の開始を設定した遅延時間だけ遅らせることができます。

8. 運転開始/停止キー(RUN/STOP)

運転の開始(設定モードの時のみ有効)と停止をおこないません。

9. デジタル時間表示部(TIME)

設定時間または運転時間を表示します。

10. デジタル温度表示部(TEMP)

設定温度または現在温度を表示します。

11. 遅延タイマ表示ランプ(DELAY)

遅延タイマ作動時に点灯します。

12. 運転表示ランプ(START)

運転中に点灯します。

13. 警報表示ランプ(ALARM)

警報が作動しているとき点灯します。

14. 設定モード表示ランプ(SET VALUE)

設定モードあるいは運転中の設定値表示モードのときに点灯します。

15. タイマモード C 表示ランプ(MODE C)

タイマモード C を選択したとき点灯します。

据付場所の選びかた

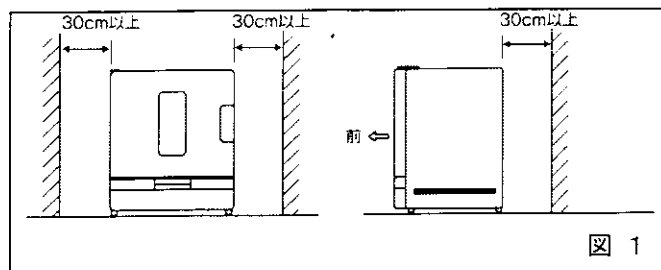
本製品を正しく運転させるために、次のような場所に据付けてください。

●直射日光の当たらない場所

直射日光の当たる場所はさけてください。直射日光の当たる場所で運転を続けると製品本来の性能が得られません。

●風通しのよい場所

本製品の周囲は風通しをよくするため、上面も含め、必ず周囲に 30 cm 以上のすきまを開けてください。通風が妨げられると性能が低下し、故障の原因になります(図 1)。



●発熱源から離れた場所

ヒータ、ボイラ等の大きな発熱源に近い場所はさけてください。製品本来の性能が得られません。

●温度変化の少ない場所

安定した周囲温度で使用してください。

●床が丈夫で水平な場所

床面は凸凹がない丈夫で水平な場所を選択してください。凸凹した場所や、傾いた状態での設置は製品が不安定になり、故障やケガの原因になることがあります。

振動や騒音をさけて運転させるために、必ず安定した状態で据付けてください。床面が不安定なときは振動や騒音の原因になります。

⚠警告

据付けは、重量に十分耐える所に確実にこなってください。強度不足や取付けが不完全な場合は、製品の転倒・落下によりケガの原因になります。

床面は丈夫で平らな所に水平になるように据付け、転倒防止の処置をしてください。据付けに不備があると水漏れ、転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

●湿気の少ない場所

湿度 80%R.H.以下の場所を選択してください。高湿度の場所で使用すると漏電・感電の原因になります。

⚠警告

屋外で使用しないでください。雨水のかかる場所で使用すると漏電・感電の原因になります。

流し台や水道のそばなど、湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に据付けしないでください。また、上部に水道や蒸気の配管がある場所はさけてください。絶縁低下から漏電・感電の原因になります。

●引火性・腐蝕性ガスのない場所

引火性・腐蝕性ガスにさらされる場所には据付けしないでください。爆発・火災の原因になります。また、電装品の腐蝕により絶縁が低下して漏電や感電の原因になります。

●落下物のない場所

製品の上に物が落下する可能性がある場所はさけてください。製品が破損し、故障の原因になることがあります。

据付けのしかた

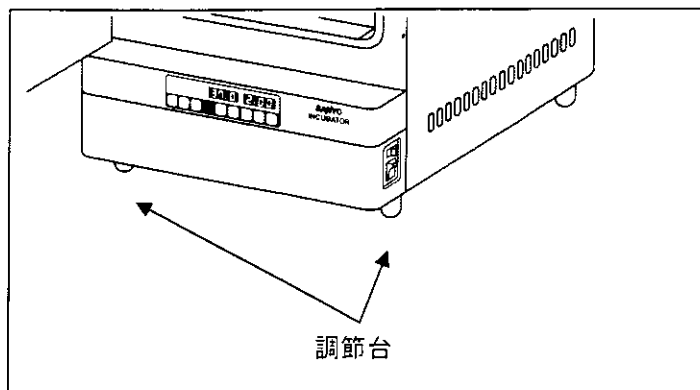
1. 梱包テープの除去

扉や内装品を固定しているテープなどをすべて外し、扉を開けてしばらく換気してください。外装の汚れがひどい場合には、薄めた食器洗い用中性洗剤を布に含ませ、拭きとってください。（原液を使用すると、プラスチックが割れることがあります。洗剤の薄めかたは、その注意書にしたがってください。）

食器洗い用中性洗剤使用後は、必ず布に水を含ませ、洗剤を拭きとってください。その後、カラぶきをし、水気を拭きとってください。

2. 調節台の固定

水平調節ネジを反時計方向に回してください。
本製品を水平に据付けてください。（図を参照）



3. アース(接地)について

アース(接地)は万一、電気の絶縁状態が悪くなった時に起こる感電を防止するものです。据付けの際は必ず接地工事をおこなってください。製品の設置場所にアース配線がない場合、営業所または販売店に相談してください。

●本製品の電源プラグは、アース極付きの3極プラグを使用していますので、アース極付きの3極コンセントをご使用の場合は、アース工事をおこなう必要はありません。

●アース工事が必要な場合

アース極付き3極コンセント以外の場合は、アダプタの緑色アース線をアースに接続してください。この場合、営業所または販売店に相談してください。

⚠ 警告

感電を防止するためにアース(接地)接続をおこなってください。アース接続ができない場合は、営業所または販売店にアース工事を依頼してください。アース接続をしないと感電の原因になります。

アース工事のアース線はガス管、水道管、避雷針や電話のアース線に接続しないでください。感電の原因になります。

4. 使用を一時中止するとき

一時的に使用を中止して放置されるときは、木片などを扉と本体との間に貼付け、密閉できないようにしてください。

⚠ 注意

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化により感電や漏電、火災の原因になることがあります。

試運転のしかた

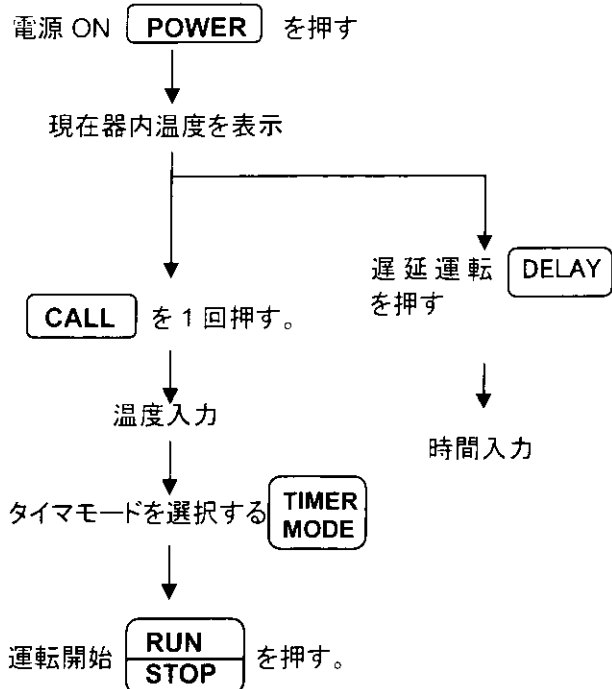
本製品の試運転(カラヤキ)は、次の手順でおこなってください。

1. 器内に棚をセットしてください。
 2. 設定温度80°Cで20分間運転をおこなってください。
 3. 器内が十分に冷えるまで放置してください。
 4. 設置場所の換気を十分におこないながら扉を開けてください。このとき、器内より刺激臭が出ますので、注意してください。
 5. 刺激臭がなくなるまで、しばらく放置換気してください。
- 試運転後も、通常の運転時に臭いが残りますが、しばらく使用するうちに臭いはなくなります。

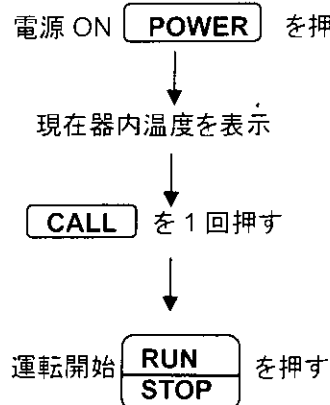
コントロールパネルの基本操作の流れ

はじめにコントロールパネルの基本操作の流れについてフローチャートで示します。

① 設定値を入力し、運転を開始する場合



② 設定値に変更がなく運転を開始する場合。



タイマ機能について

タイマモード切換えキー **TIMER MODE** により下記の 2 つのモードを選択できます。

● 通常モード(タイマモード C 表示ランプ消灯)

タイマ設定時間経過後に、“ピー”というブザー音でお知らせし、運転を終了します。

● タイマモード C(タイマモード C 表示ランプ点灯)

タイマ設定時間経過後に、ブザー音でお知らせし、その後も設定温度で運転を続けます。このとき、時間表示部には **00** : **00** が、表示されています。なお、実際のご使用方法については、P.13 の“コントロールパネルの応用操作方法”の項を参照してください。

コントロールパネルの基本操作方法

基本的な操作方法を表 1 に示します。設定例として器内温度 37.0°C・連続運転の場合について、表に示す順序にしたがってキー操作をおこなってください。

●工場出荷時の初期値は、遅延運転機能 OFF・器内設定温度 0°C 連続運転・タイマ:通常モードになっております。

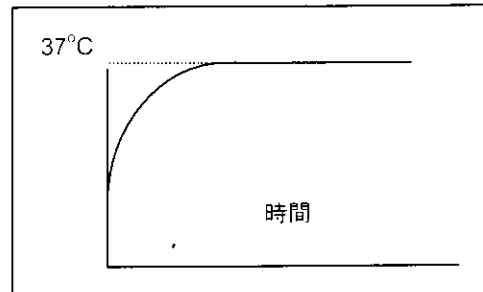


表 1 基本操作手順(例:器内温度 37.0°C・連続運転)

	操作内容	操作キー	操作後の表示	モード
1	主電源スイッチを ON にする	POWER		
2	キーロックスイッチを OFF にする	KEY LOCK		
3	コントロールパネルの電源スイッチを ON にする	POWER	現在の器内温度を表示する 20.0 :	器内温度表示モード
4	遅延タイマキーを押して現在の遅延時間設定値を表示する。再度、遅延タイマキーを押して、遅延時間設定値をリセット(00:00)する	DELAY	現在の遅延時間を表示する 00:00	遅延時間確認設定モード
		DELAY	遅延時間設定値をリセットする 00:00	
5	遅延タイマキーを押す(新しい遅延時間設定値を保存し、器内温度表示に戻ります)	DELAY	現在の器内温度を表示する 20.0 :	器内温度表示モード
6	コールキーを押す(現在の設定温度を表示します)	CALL	温度表示部の 3 桁目が点滅する 00.0 - - : - -	
7	桁シフトキー、数値シフトキーにより、温度を(37.0)、時間を(- - : - -)に合せる。	▶▶	押すと設定可能な桁が移動する 37.0 - - : - -	温度・運転時間設定モード
		▲	押すと設定可能な数値が増加する	
8	運転開始/停止キーを押す	RUN/STOP	運転を開始する	
9	キーロックスイッチを ON にする	KEY LOCK		

コントロールパネルの応用操作方法

応用例として、30分遅延運転開始・器内温度 50°C・運転時間 1時間・タイマモードCの場合について表2に示す順序にてキー操作をおこなってください。

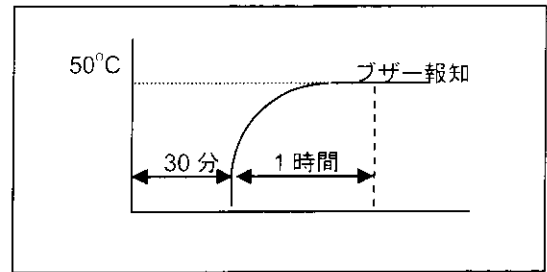


表2 応用操作手順(例: 30分遅延後運転開始・器内温度 50.0°C・運転時間 1時間・タイマモードC)

	操作内容	操作キー	操作後の表示	モード
1	主電源スイッチをONにする	POWER		
2	キーロックスイッチをOFFにする	KEY LOCK		
3	コントロールパネルの電源スイッチをONにする	POWER	現在の器内温度を表示する 20.0 : _ _	器内温度表示モード
4	遅延タイマキーを押して現在の遅延時間設定値を表示する。再度、遅延タイマキーを押して、遅延時間設定値をリセット(00:00)する。 桁シフトキー、数値シフトキーにより、時間を(00:30)に合せる	DELAY	現在の遅延時間を表示する _ . 00:00	遅延時間確認設定モード
		DELAY	遅延時間設定値をリセットする _ . 00:00	
		▶▶	押すと設定可能な桁が移動する	
		▲	押すと設定可能な桁の数値が増加する _ . 00:30	
5	遅延タイマキーを押す(新しい遅延時間設定値を保存し、器内温度表示に戻ります)	DELAY	現在の器内温度を表示する 20.0 : _ _	器内温度表示モード
6	コールキーを押す(現在の設定温度を表示します)	CALL	温度表示部の3桁目が点滅する 00.0 _ _ : _ _	温度・運転時間設定モード
7	桁シフトキー、数値シフトキーにより、温度を(50.0)、時間を(01:00)に合せる。	▶▶ ▲	押すと設定可能な桁が移動する 押すと設定可能な数値が増加する 50.0 01:00	
8	タイマモード切換えキーにより、モードの選択をする	TIMER MODE	押すごとにタイマモードCまたは通常モードに切替わる タイマモードCを選択すると、タイマモードC表示ランプが点灯する	タイマモード選択
9	運転開始/停止キーを押す	RUN/STOP	運転を開始する	遅延残り時間表示(遅延終了後、時間表示は、運転時間表示モードになる)
10	キーロックスイッチをONにする	KEY LOCK		

コントロールパネル操作時の注意事項

1. 各々の設定モードで設定値の変更がない場合、コールキー(CALL)を押すと次のモードに移ります。また運転中は、コールキー(CALL)により設定値表示モードになります。設定値を変更する場合は運転開始/停止キー(RUN/STOP)を押して、運転停止後におこなってください。
2. 遅延運転機能を使用しない場合は、遅延時間設定値を(00:00)にしてください。
3. 連続運転をおこなう場合は、運転時間設定値を **00** : **00** にしてください。なお、**00** : **00** 表示は、時間表示部の4桁目を数値シフトキー(▲)で増加させることによりおこないます。
4. 運転開始は温度、運転時間設定モード時に、運転開始/停止キー(RUN/STOP)を押すことによりおこないます。

警報・保安機能および自己診断機能

本製品には表 3 に示す警報・保安機能および自己診断機能があります。

表 3 警報・保安機能一覧

警報・保安の種類	状 況	表 示	ブザー	保安動作	
自動設定温度 警報	器内温度が設定値±2.5℃以外になったとき	警報表示ランプ点灯 温度表示部全桁点滅	3秒遅延後 断続音	----	
オートリターン	各設定モード時、約45秒間キー操作がないとき	現在値の表示	----	設定モードを終了	
キーロックスイッチ	キーロックをONにしたとき	—	----	コールキー以外の キー入力受付禁止	
温度センサ異常	温度センサが断線または短絡したとき	警報表示ランプ点灯 E01点滅表示	断続音	運転停止	
トライアック異常	トライアックが断線したとき	“ E02点滅表示	“	“	
	トライアックが短絡したとき	“ E03点滅表示	“	“	
リレー異常等	リレーが短絡したとき	“ E04点滅表示	“	“	
	リレーの断線か、ヒータのいずれかが短絡あ るいは基盤周囲温度が約65℃以上のとき	“ E05点滅表示	“	“	
外部過昇 防止機能	停 止 中	器内が異常加熱したとき独立した温度 センサにより安全回路が作動	表示内容は変化なし	連続音	外部回路で強制的 に運転停止
	運 転 中	“	警報表示ランプ点灯 E05点滅表示	連続音 (温度低下 時断続音)	外部回路で強制的 に運転停止

* 外部過昇防止機能による警報ブザー音は、警報ブザー音停止キー(BZ)では停止できません。主電源スイッチをOFFにしてください。

停電復帰後の動作

停電中は不揮発性メモリによって設定値がバックアップされますので、停電復帰後は停電前の設定値で運転が再開されます。主電源をOFFにしても設定値は同様にバックアップされます。

お手入れのしかた

警告

お手入れや整備・点検のときは、電源プラグを抜いてください。感電やケガの原因になります。
製品のお手入れの際、周囲についた薬品、蒸気や粉塵を吸込まないでください。健康を害する原因になります。

警告

製品に直接水をかけたりしないでください。ショート・感電の原因になります。

注意

メンテナンスやお手入れをおこなう場合には、必ず手袋を着用してください。部品の端面や角によるケガの原因となることがあります。

清掃のしかた

1. 器内の清掃のしかた

- 器内のアミ棚を外してください。
- 軽い汚れは柔らかい乾いた布で拭きとってください。落ちにくい汚れは薄めた食器洗い用中性洗剤を布に含ませ、拭きとってください。食器洗い用中性洗剤使用後は、必ず布に水を含ませ、洗剤を拭きとってください。その後、カラぶきをし、水気を拭きとってください。

2. フレームの清掃

- フレームのよごれは薄めた食器洗い用中性洗剤を布に含ませ、拭きとってください。(原液を使用すると、プラスチックが割れることがあります。洗剤の薄めかたは、その注意書にしたがってください。)食器洗い用中性洗剤使用後は、必ず布に水を含ませ、洗剤を拭きとってください。その後、カラぶきをし、水気を拭きとってください。

3. 棚の清掃

- 棚は薄めた食器洗い用中性洗剤を浸したスポンジでよく洗ってください。その後水をきり、乾燥機にセットし十分に乾燥してください。なお、高温にさらされた棚は、自然に変色しますが、自然変色ですのでご了承ください。

故障かな?と思ったら

警告

メンテナンス技術員以外の方は、絶対に分解したり修理、改造はおこなわないでください。発火したり、異常動作等により、ケガをすることがあります。

異常時は運転を停止して電源プラグを抜いてください。異常のまま運転を続けると感電、火災等の原因になります。

製品の故障が疑われる場合は、サービスを依頼する前に、まず下記の表を参考にチェックしてください。

症 状	確認／対策
電源を入れてもなにも作動しないとき	<ul style="list-style-type: none">・停電ではありませんか・電源側のヒューズやブレーカが切れていませんか・電源プラグがコンセントから抜けていませんか・電源容量は十分ですか
キーを操作してもなにも変化しないとき	<ul style="list-style-type: none">・キーロックスイッチは ON になっていませんか
警報装置が作動しているとき (警報装置のランプおよびブザーが作動しているとき)	(1)使用開始時 器内の温度は設定した値になっていますか (2)使用中 <ul style="list-style-type: none">・温度設定値を変えたり、扉を長い時間開いたままにしていませんでしたか・器内に温度の低い負荷を入れませんでしたか (これらの場合、放置しておくとも警報は自然に止まります)
器内温度が設定温度に合わないとき	<ul style="list-style-type: none">・周囲の温度が高すぎませんか (周囲温度は、常に設定温度よりも 5℃以下でなければなりません。もし、周囲温度がこれ以上高くなる場合には、部屋の空調を再検討してください)・本体が傾いて設置されていませんか (本製品は、水平になるように設置してください)

注意:

上記確認／対策方法を実施しても改善されない場合、もしくは上記以外の内容については、営業所または販売店へ問合せください。

アフターサービスと保証(無料修理について)

本製品には、別紙保証書請求券が同梱されています。設置が完了次第、2週間以内に返送してください。お返し保証書をお送りいたします。保証書の記載のとおり、保証期間(購入後1年以内)を設けて無料修理をいたします。保証書がない場合や、故障の原因が当社側の責任でない場合には、無料修理期間中でも修理料金をいただくこととなりますので注意してください。また、修理等のメンテナンスを実施する際には、安全確認書が必要となります。

- 本保証は、本製品にのみ適用されるもので、本製品に収納する試料や試薬等は保証の対象外となります。
- 保証期間経過後の修理については、営業所または販売店に相談してください。修理によって機能が維持できない場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 修理、サービスを依頼される時は保証書が必要です。紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証書の記載事項はよくお読みください。
- 当社営業所及びサービス受付けの連絡先は、別紙の一覧表を参照してください。
- サービスを依頼する際には、次の項目をお知らせください。
 - ①故障の状況(できるだけ詳しく)
 - ②品番
 - ③製造番号
 - ④お買上げ年月日保証書に記入してあります。

保証書請求券についてのお願い

- 保証書請求券は保証書のかわりとして使用することはできません。必ず保証書の請求をおこなってください。
- 保証書請求券は読みやすい字ではっきりと書いてください。また、ご担当者名が明記されていないとお手元に届かない場合がありますので、必ずご担当者名も記入してください。
- 保証書請求をおこなっても、お手元に保証書が届かない場合は、営業所または販売店へ連絡してください。

安全確認書発行のお願い

警告

次ページの安全確認書は、修理等のメンテナンスを実施する際、対象機器の安全性について、お客様に発行していただくものです。これは販売店、メンテナンス技術員および当社社員の安全の確保を目的としておりますので、お手数ですがご協力をお願いします。

- 機器修理等のメンテナンスを実施する際、安全確認書は毎回発行をお願いします。
- 安全確認書は、次ページをコピーし、内容を記入後、当社メンテナンス技術員に提出をお願いします。
- 安全確認書が発行いただけない場合、メンテナンスをお断りする場合があります。
- 機器が汚染している場合、事前に除染できる範囲は、お客様にて除染処理をお願いします。

安全確認書

三洋電機(株)宛

1. ご使用の試料: _____

病原性 : なし・可能性あり・あり

毒性 : なし・可能性あり・あり

放射性物質: 使用せず・使用(核種: _____)

その他の特記事項: _____

2. 機器の汚染状況

製品内: 汚染なし・除染済み・汚染の可能性あり・汚染あり

(除染済みの場合、除染方法: _____)

その他の汚染状況: _____

3. メンテナンス・修理における安全対策方法

イ)安全です。

ロ)危険性があります。具体的な安全対策方法、除染方法は以下のとおりです。

記入日: 平成 年 月 日

ご芳名: _____

所属: _____

責任者: _____ 印

電話番号: _____

品名	品番	製造番号	設置年月日
ヒータ式インキュベータ	MIR-162/MIR-262		平成 年 月 日

お願い: 当社では、修理等のメンテナンスの実施、または、返却に際し、安全確認書の発行をお願いしております。これは、販売店、メンテナンス技術員および当社社員の安全の確保を目的としておりますので、お手数ではございますがご協力をお願いいたします。なお、機器が汚染されている場合、事前に除染できる範囲は、お客様にて除染処理をお願いします。

●本安全確認書によりお受けしたお客さまのお名前、お電話番号などの個人情報適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はございません。

三洋電機株式会社

インキュベータを廃棄するときは

- 幼児が遊ぶ可能性のある場所に、みだりに放置しないよう、とくに注意してください。
- 本製品を処分するときは、必ずちょうつがいをこわして扉が密閉できないようにしてください。

警告

製品を一時的に使用を中止して保管する場合は、幼児が遊ぶ場所をさけ、扉を密閉できないようにしてください。幼児が閉じ込められる原因になります。

解体・廃棄は専門の業者に依頼してください。放置しますと幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。

仕様

品名	ヒータ式インキュベータ	
品番	MIR-162	MIR-262
外形寸法	幅580 x 奥行595 x 高さ820 mm	幅730 x 奥行645 x 高さ870 mm
内形寸法	幅450 x 奥行460 x 高さ450 mm	幅600 x 奥行510 x 高さ500 mm
有効内容積	93 L	153 L
外装	塗装鋼板	
内装	ステンレス鋼板	
扉	塗装鋼板	
内扉	強化ガラス	
棚	ステンレス鋼板 ステンレスワイヤ 内寸法: 幅415 x 奥行425 mm 耐荷重: 15 kg、多段調節式 2枚	ステンレス鋼板 ステンレスワイヤ 内寸法: 幅565 x 奥行475 mm 耐荷重: 15 kg、多段調節式 3枚
断熱材	グラスウール	
加熱方式	自然対流式	
ヒータ	200 W	296 W
温度調節方式	PID制御式	
温度表示方式	デジタル表示式(分解能:0.1°C)	
警報機能	自動設定温度警報、温度センサ異常、トライアック異常 リレー異常、外部過昇防止機能	
過電流ブレーカ	定格電流:10 A	
付属品	ステンレス棚2枚	ステンレス棚3枚
電源	単相 100 V・50/60 Hz	
製品質量	44 kg	61 kg

・製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

性能仕様

温度制御範囲	室温+5~60°C(周囲温度:0~20°C、無負荷) 室温+5~80°C(周囲温度:20~35°C、無負荷)	
温度分布	±1°C(設定:37°C、周囲温度:20°C、無負荷)	
温度変動幅	±0.2°C(設定:~60°C、周囲温度:20°C、無負荷) ±0.5°C(設定:60~80°C、周囲温度:20°C、無負荷)	
最大消費電力	200 W	300 W
総合最大電流	2 A	3 A
最大放熱量	720 kJ/h	1080 kJ/h
使用環境	温度: 0~35°C、湿度:80%R.H.以下	

・製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

・本製品の各データは、当社基準で測定しています。